



刊夕日五月八

常磐每日新聞
 常磐水泳部通信
 (第二信) 午前と午後の
 二回の練習に夜はぐつすり
 一眠り。夏の夜の明易く六
 時に起き出で、私共はお炊
 事にお掃除にそれ／＼分擔
 の仕事に取りかゝります。
 おろしがねで大根をおろし
 損ねて指先をおろし胡瓜の
 皮をはぐとは庖丁がいふ
 事かぬため、でこぼこに
 して了ふなど然し自炊生活
 の樂しみはほんとうにこの
 中にあると何等いやな顔も
 せず痛い顔も見せずせつせ
 と働いてゐます。自習室兼
 寢室兼食堂に一同打揃つて

朝の御飯をいたゞくのが七
 時で七時半から約一時間の
 自習を終へると水泳衣に着
 更へて磯傳ひ小波に足洗は
 せながら水泳場船入にまゐ
 ります。私どもの宿舎から
 十分ほどかゝります。憂へ
 無き身の幸多きよ
 (第三信) 八月二日今日
 は歸宅の日なので常には七
 時頃までごろ／＼して居る
 友達も何となく落着かない
 氣持で五時頃眼を醒した
 十時頃濱に出かけたが今日
 は築港の方には行かず近く
 の海邊で貝踏みをしてはら
 飛びをしたりしてしばらく
 名残を惜しむ十一時頃歸り
 荷物をまとめる、皆黒坊の

お揃で手に／＼荷物を提げ
 四時の汽車で泉を立つ五時
 二十四分平驛に着く、停車
 場で長々お世話になつた先
 生や樂しく暮した友達と
 『さやうなら』『御きげんよ
 う』等と言葉を交はして出
 迎に來た家の人と共に樂し
 く家路についた
 十日間の海邊の楽しい生活
 を常に緊張した御心で御導
 さ下さつた諸先生に今厚く
 御禮致します



霜降小倉
 通學服
 寸法各種
 澤山取揃
 磐城平
 ぶかや洋服店
 電話三〇三番

常磐文藝
 頭り重き日 明愛
 くしやくしやな頭抱へて
 寄り掛る、机の足も揺ぐ
 ばかりに
 蚊や火に落ちた小虫の
 羽むじり蠟ぼたらすあ
 はれなる日よ
 裏方に聲高らかに笑ひ居
 る人も憎めしおはれなる
 子や
 くしやくしやな頭抱へて
 い寝る夜は、何處のくに
 か早鐘の音
 早鐘に足早馬の火の車、
 頭の隅より跳り出で來ぬ
 まつじぐらゝ跳り出でた
 と火の車頭の車を駆け廻
 る如し
 十王の廳に引かれて赤鬼
 の赤き炎に焼かるゝがこ
 と
 じりじりと焼く音の
 心地よく胸にまででに焼
 けて無くなれ

歯科
 平町土橋通り
 原齒科醫院
 電話卅一番

さつと御氣に召す
 八月新譜到着
 蓄音機と
 レコード 平和堂
 電話六一一

町平
 町屋
 吉田眼科醫院

金物類大賣出し
 諸御家庭技術用具
 越後三條打及物類、引物、ニーム物
 なべ、かま、鐵びん、ドーコ類、火鉢
 やかん、銅器一式、建築及技術用具
 學生方用ナイフ、コンパス、ハサミ類
 料理屋、御家庭向き其他一般金物類
 御注文品は多少に拘はらず特急に配達致
 します、尙盛夏より初秋にかけては午後
 九時迄御客様を御待ち申します
 平電機株式會社 (平驛前)
 電話(特長)四二八番
 振替口座仙台三三三八

吉田染屋工場
 電話五五八番
 手拭、消防被服、専染所
 印半天、風呂敷
 小役員募集
 弟子さん

葡萄酒葡萄藤佐
 平町郡役所前通
 實密製造元
 葡萄酒葡萄藤佐

ユ一ホン號
 特價提供
 正價 四十五圓
 のところ
 特價 三十圓
 (傷物あり)
 會田時計店
 電話三六三

赤心堂病院
 内科・外科・花柳病科
 耳鼻喉科・婦人科
 平町電話四七五番
 松村病院
 内科・胃腸科・婦人科
 十二指腸虫病科
 花柳病科・X光線科
 平町南町電話一〇七番

常盤屋時計店
 電話三三九番
 小僧さん入用(有聲座鐘)
 喰へてたいしい
 達藤パン

産婆開業
 平町町(呼電話三三三番)
 片寄産婆方
 東京帝國醫科大學産婆復習科
 卒業 鈴木エ
 ◎妊婦産婦御預り致し
 ます◎御困りの方には
 無料でお扱ひ致します

大谷時計店
 平町三丁目電話一九番
 夏帽子
 洋傘
 大谷洋品部

ハイ取り競争の 審査は愈々明日

直ちに結果を發表して
褒賞授與式を舉行

本社主催「ハイ取り競争」の審査は愈々明日六日です、三日から本日迄に捕殺した蠅を左の要領に基いて持ち寄り願ひます明日の結果に依つて傳染病豫防に關し効果を擧ぐべく期待します

- 一、審査會場 平商業學校々庭天幕内
- 一、捕殺蠅持參時間 明六日午前八時より正午迄晴雨不拘
- 一、捕殺蠅持參方法 ハイ取り紙に附着せる儘か或ひは紙袋其他の容器に入れる等何れも持參者の隨意
- 一、審査時間 明六日午後一時より午後三時迄
- 一、審査立會人 平警察署、平町役場、平衛生會各代表者
- 一、審査の方法 持參者の捕殺蠅を目方に掛け重量の重きを好成绩とす
- 一、審査結果發表 明六日午後三時結果を發表すると同時に褒賞授與式に移る

今までは原町無電が 平町のラヂオに邪魔

夫れも苦心の結果
完全に取除かれた

ラヂオ熱の勃興は全國的に波及し本縣にても福島、若松、郡山白河の各市街地には何れも多數の正式受信者がある情勢なるに反し、わが平町には從來演通りの代表市街として總べての文化的施設が縣下の各都市を凌いで居るに拘らず地勢上の關係で銚子無電局の通信や原町送信處のアンテナが邪魔を爲し機械の精巧を誇るヘテルタイン受信器を以つてするも聲音が不明瞭なる有様で現在町内に正式受信をして居るのは 四丁目の警城工業商員と一丁目の常

盤屋時計店の二ヶ處のみで前記受信上の二大障害を除かない以上は警城地方は永久ラヂオ文明の恩恵に浴する事の出来ぬ不幸な立場にあるを遺憾とし前記常盤屋松本三郎氏は前後半歳の日子と少くない費用を投じ苦辛を費し、先づ平町から江名町迄自動車道路に改修するに決し縣土木課では先づ平町から江名町に至る道路を改修し續いて勿來川部間、湯本上遠野間等に及ぼす由

肥後の守で 胸を突刺す

好問の刀傷

石城郡好問村大字上好問字大畑隅田川炭礦小澤憲次郎方同居坑夫高秋惣次郎(三)は去る三日午前十一時頃同僚なる松本喜一郎(二)と作業上の事から口論を始めたが惣次郎は矢庭に隠し持った肥後の守と稱する小刀を



家庭欄
慈姑のきんさん

寝込んだ男

公園で
平署が取調ぶ

昨日正午頃松ヶ岡第二公園のベンチに洋服着の男一名熟睡し居たるを平署員が發見直ちに引致したが同人は取出し、水洗ひをして目覚めにあげておき、別に薩摩芋の皮をのけて二分ぐらゐの輪切にし、水で灰汁を抜いてから熱湯を入れて茹で、水をきつて鍋にうつして、砂糖と酒と少量の鹽を加へてよくかきませながら、煮て裏鹿にかけ、さきに茹でておいた慈姑を鍋

鳥濱で難破

江名漁船が
船員異狀なし

石城郡江名町字北町佐藤助五郎處有の清正丸は五日午前七時頃相馬郡眞野村鳥濱の暗礁に乗り上げたが幸に死者等なく目下引下作業中

鳥濱で難破

石城農事狀況
新任

本縣農林技師古賀信義氏は五日午後六時來平六七の兩日郡内農事狀況の一般を視察する

石城郡江名町字北町佐藤助五郎處有の清正丸は五日午前七時頃相馬郡眞野村鳥濱の暗礁に乗り上げたが幸に死者等なく目下引下作業中

常磐片々

明日夏井川治水工事調査の爲め縣の土木技師が來平の爲めに平町では船を河上に浮べて流れに竿さすと

時正に盛夏、治水調査が船遊びに終らざらん事を念願するや切なり

松ヶ岡公園に寢込んで居た洋服男、一人で二足の靴を携參すと怪しと睨まれ平署へ引立られ安眠妨害だといきまゝ、世の中も面倒になつた

夏井川の 治水工事調査

縣技師が來平

夏井川治水工事實地調査の爲め明日縣廳より河原技師來平する筈であるが伏見町長及び渡邊土木監督所長、井上縣會議員等案内し消防組の枚護船に乗つて現場を仔細に視察する由

不景氣でも 税額は下らぬ

石城郡下の遊興税は一月から六月迄の間に五千三百圓となり四月以來税金を徴收

自給肥料

神谷試驗場で

石城郡農會主催自給肥料に關する講演會は來月十四日午前九時より神谷村農事試驗分場に開かれる筈だが講師は本縣農試場技師高崎卷氏で一般の聴講を希望する

好問乳劑撒布

石城郡好問村元山衛生組合にては附近一帯の下水に石油乳

點呼の豫習

平第一校にて

平町の簡閱點呼は八日午前七時から平第一校に於て執行される筈であるため在郷軍人分會にては明六日午前七時より同校にて點呼豫習を行ふ

水産工業創立

石城郡小名濱町縣會議員小野晋平氏等發起の水産物冷蔵業及び加工販賣を目的とする資本金百五十萬圓の警城水産工業株式會社は來る十日發起人會を開き株式公募其他を協議する

兔の耳

十八歳で中等教員
文部省第四十二回
中等學校教員檢定
試驗數學科に最優
等の成績を示した本年漸く満十七歳の少年がある名を今野武雄といひ明治四十一年三月十七日東京府下住原郡大崎町字桐ヶ谷三一九六平五男に生れ土地の小學校卒業後大正十一年四月東京物理學校別科師範部數學科に入り本年三月同校を卒業したもので天才にあらずんば到底よくなく得ぬところであると試験官も舌をまいてゐる

募集

文藝其他投稿
を募集します